

あす 未来の長生を考える

おだか陽一後援会だより

発行者
おだか陽一後援会
発行責任者：小高信一
長生村岩沼619
TEL・FAX (32) 3949

令和5年 会報
2号

七十周年を楽しもう



村長 小高 陽一

「夢」なき者に成功なし
幕末の志士、吉田

松陰の言葉を新聞で読みました。

村長就任以来、本村のキャッチフレーズ「夢がある、生きがいを感じる、住んで良かった長生村」に通じる言葉だと思っています。

今後とも、住民の「夢」実現のため、まい進いたします。

さて、令和五年度もすでに一ヵ月半が経過しました。ゴールデンウィークを挟みましたが、計画した事業は順調に動き出しています。すでに広報四月号でお知らせしましたが、本年度一般会計予算は六十四億四千百万円です。参考に近隣市町の予算と人口を表に示します。

令和5年度 村と近隣市町の一般会計予算と人口（令和5年4月1日現在）

市町村	予算額（千円）	人口（人）	1人当たり（千円）
長生村	6,441,000	13,647	472
一宮町	4,998,000	12,302	406
睦沢町	3,687,000	6,692	551
白子町	5,049,000	10,677	473
長柄町	4,017,000	6,413	626
長南町	4,809,000	7,353	654
茂原市	31,894,000	87,096	366

新規事業は、(1)帯状疱疹予防接種事業、(2)不妊治療費助成事業(いずれも健康推進課)、(3)高校生、大学生等に対する通学定期購入費補助事業、(4)小学校児童に対するバス通学定期運賃補助金、(5)必要な児童生徒のため、小中学校のトイレに生理用品を設置する小中学校生理用品設置事業(いずれも子ども教育課)です。

そして今年は何と云っても長生村誕生七十周年。記念式典をはじめ、たくさんイベントで花を添えます。

すでに四月から始まっている事業もありますが、どうぞ大勢の皆さんが参加され、我が長生村の良さを満喫していただけたいと思います。

私もメンバーとして参加する、十月のちようせい子ども祭りでは今年も水鉄砲を作りますし、十二月のバンドコンサートに向け新曲を練習中です。

また、期日は決まっていますが、秋の村民歩け歩け大会では友好都市の埼玉県東秩父村を皆さんと一緒に歩きます。

日本のプロ野球も盛り上がっています。今だに興奮冷めやらぬのが三月のWBC(ワールドベースボールクラシック)での日本の優勝でしょう。

ダルビッシュ、大谷、吉田らの大リーグ組と村上、岡本、山本、佐々木などの日本のトップ選手が抜群のチームワークで勝ち抜いた試合は、私たちをテレビの前にくぎ付けにしました。私の心に残ったのは、「準

決勝サヨナラ」のホームを踏んだ周東選手の走塁と憧れたら勝てない」と皆を鼓舞した大谷選手の言葉。そして彼らをまとめ上げた栗山監督。

今でこそ数々のエピソードが語られますが、勝ったからの評価であり、各チームの主力選手を預かり、その特性を充分に発揮させ優勝に導くまでの苦労は計り知れないものがあつたことでしょう。

今年の上司にしたいナンバーワンは決まりました。私も少しでもあやかりたいものです。七十周年の記念講演としてお呼びしたいのですが、どなたかツテがありましたらご連絡ください。

おだか陽一後援会 総会を開催

令和五年二月一九日、長生村交流センター講堂にて開催しました。

過去二年はコロナ禍のため書面開催でしたが、三年ぶりの対面での開催となりました。

総会には後援会員六十一名が出席し、令和四年事業報告、令和四年収入支出決算